

様式1(主な取組)

活動指標名		R2年度				R2年度		R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)				達成割合 A/B
活動指標名		R2年度						227,778	大幅遅れ	<p>令和2年度は、宮古島、池間島、石垣島の3離島に派遣し、農業や魚さばき体験などを体験プログラムを実施した。</p> <p>また、派遣中止となった学校と離島との交流の機会を確保するため、離島と希望校とオンラインでつなぎ交流を実施した。</p> <p>(派遣実績：21校1,070人) (オンライン：8校526人)</p>	
実績値		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)				達成割合 A/B
活動指標名		R2年度									
実績値		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)				達成割合 A/B
活動指標名		R2年度						227,778	大幅遅れ	<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による派遣の中止の発生により派遣実績は計画値3,000人を下回る計1,070人となった。</p> <p>児童は、自然体験や地元の児童及び人々との密接な交流を通じて、離島の重要性に対する理解が深まっている。</p> <p>派遣離島側は、本事業を通じて感染症拡大防止策や感染疑い事例発生時の対応等を構築しており、今後ウィズコロナでの教育旅行受け入れに活用することが期待できる。</p>	
実績値		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)				達成割合 A/B
活動指標名		R2年度									
実績値		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)				達成割合 A/B
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和2年度の取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・地元の核となるコーディネーター育成のため異なる取組を実施している離島の視察や研修等を引き続き実施し、小規模離島においては、コーディネーターの担い手となる人材の発掘を行う。 ・現在、法的許可を得ていない宿泊施設は利用していない。育成の観点から違法民泊とならないよう制度の周知や手続きに係る支援を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、派遣実施時期を遅らせ、児童及び引率者等の安全・安心を確保する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・児童派遣前の年度当初に、コーディネーター育成のための研修を2日間にわたり実施し、児童派遣行程におけるリスクマネジメントや体験プログラムの造成についてのワークショップを行った他、年度末には、取組の成果や課題など、各受入離島の検証を報告する事業評価会議を実施した。 ・これまでと同様、受入体制の整備状況の確認を行い、受入に必要とされる届出や登録制度の周知や手続きに係る支援を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら派遣を実施した。派遣時期や感染症対策等について学校と受入離島の合意のもとに実施できるよう双方と細やかな調整を行った。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・コーディネーターや受入民家の育成が必要であるが、特に小規模離島においては慢性的な人材不足等の課題があり、育成の取り組みが困難な状況にある。

○外部環境の変化

・近年、旅館業法の許可を得ずに実施される、いわゆる違法民泊問題が県内外で生じている。

・新型コロナウイルス感染症の世界的な流行。

・多様化する観光ニーズや新たな学習指導要領に示された「体験活動の重視」に対応する必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・持続的な受入ができるようコーディネーターの担い手となる人材の発掘が必要である。

・多様化する観光ニーズや新たな学習指導要領に示された「体験活動の重視」に対応するため、引き続き島の資源を活用した体験プログラム開発や既存プログラムにおける学習効果を高める工夫が必要である。

・ウィズコロナ下で派遣先を小規模離島や病院の無い離島するためには、受入離島側は感染症拡大防止にかかる体制を構築する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・地元の核となるコーディネーター育成のため異なる取組を実施している離島の視察や研修等を引き続き実施し、小規模離島においては、コーディネーターの担い手となる人材の発掘を行う。

・現在、法的許可を得ていない宿泊施設は利用していない。育成の観点から違法民泊とならないよう制度の周知や手続きに係る支援を行う。

・令和2年度中に派遣受入した3離島の感染症対策等を他離島に共有し、各離島の感染症拡大防止にかかる体制づくりを進める